

花緑センターだより

(公財) 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

令和4年12月 63号

自然と建築の融合

第3回 「景観とスケッチ授業」

武庫川女子大学 建築学部 景観建築学科 教授 杉田 茂樹

大学の授業で風景のスケッチを教えています。武庫川女子大学建築学部では授業の一環としてフィールドワークを行っており、歴史的な建物、庭園、自然景観、街並みなどを見学、調査しています。見学、調査の後各自好きな場所を選んで2、30分程度で簡単なスケッチを描きます。

学生にはまず「目で見たままの風景を描きなさい」と指導するのですが、これがなかなか難しく、手が動きません。短時間で描くためには風景の構成を素早く掴んで絵全体の骨格となる線を最初に描くことが重要です。ところが慣れない学生は細部から少しずつ描いてゆきます。早く完成させたいと思うあまり焦って、まずは描きやすいところを最初に描いて、それから余った時間で残りを描けばいいと思うのでしょうか。これが命取りです。結局絵全体が歪み、つじつまが合わなくなって、場合によっては描き直すことになります。

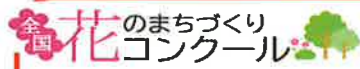
スケッチをうまく描くコツは透視図の原理を理解して最初に焦点を決めることです。まずは落ち着いて描きたい風景を正面から見て自分の目の位置を確認、用紙の上に一つの点を描きます。これを焦点といいます。次に風景の中から並木や建物の屋根など遠くに向かって進む線を見つけて焦点に向けて放射状に線を引きます。この線が何本か描けるとこれを頼りに主な植物や建物、山並みなどの輪郭線を描きます。この一連の作業を最初にやっておけば、あとは時間の許す範囲で細かい部分を描けばよいのです。

ここで多少間違えても絵全体の骨格は出来ていますから気にする必要はありません。かえって手描きの良さが出て個性ある絵に仕上がることもあります。要するに焦らず「急がば回れ」の精神です。これを頭で理解することはすぐできますが、手で描くためには訓練が必要で、スラスラと手が動くようになるまでには数年かかります。

大学院まで6年間スケッチ授業は続きます。毎年春は新入生と一緒にキャンパス内の甲子園会館を描いています。甲子園会館は凹凸が多く細かな装飾が施された歴史的建築物で、初心者には相当手強い相手です。「先生、これメッチャムズイ、私もうアカンわ」などの叫び声ともに描いていた歪んだ絵も卒業する頃には美しい風景画に変わり、大学院を修了する頃には私を追い越して立派な設計者の作品となります。負けず嫌いの私は追い越されないように日々学生に隠れて練習しております。



武庫川女子大学甲子園会館のスケッチ (筆者作)



祝！第32回全国花のまちづくりコンクール花のまちづくり受賞者紹介

※「全国花のまちづくりコンクール」とは
 提唱：農林水産省及び国土交通省
 設立：1991年
 目的：国際花と緑の博覧会（花の万博・1990年・大阪市）の基本理念「自然と人間との共生」を継承して花のまちづくりを国民的な市民運動として普及、定着させること。
 内容：全国各地で取り組まれている花や緑による優秀な活動を顕彰し、広く紹介する。
 4部門（市町村部門、団体部門、個人部門、企業部門）で行われている。
 審査項目は
 ・快適な生活・環境づくり・エコロジー・花による表現・花のデザイン・栽培状況・活動状況・地域の活性化

花のまちづくり大賞 農林水産大臣賞 <個人部門>

「あわじ花山水」洲本市 水田 進氏

生物の多様性と美しい景観を育んできたこの地域は、4世帯8人という極少集落ですが、豊かな自然と生まれ故郷を消滅させたくないという思いから、「花とみどり」による観光客と交流人口を増加させるという思いで2002年からアジサイ園づくりを始めました。

田んぼを活かしたユニークな観光農園づくりを心掛け、可能な限り手作りにこだわり四季を通じて楽しんで頂きたく、スイレン、ハス、ハナモモ、シダレザクラ、レンギョウ、タチアオイなども植栽しています。今では5,000㎡の園内におよそ70種4,000株のアジサイが田んぼの緑との見事なコントラストを演じています。



通路は簡易な舗装を施し、全ての人に優しいバリアフリーとなっています。

開園までに行う草刈りや通路の整備、また猛暑の中での7月中には済ませるアジサイの剪定作業などは経費削減の意味からも家族だけで行っています。

現在は、洲本市の域学連携事業に参画し、集落において色んな活動もしており、中でも用水路に設置した小水力発電施設は、各地域から視察団体が数多く来られるようになりました。

また、特定外来植物ナルトサワギクの除去と染色イベントなども恒例になってきており、生態系の大切さを多くの参加者が痛感されています。

さらに、集落内に空き家を活用したおしゃれなレストランが開店した事は大きい出来事の一つです。

他にも地域起こし協力隊員として30歳代家族4名が東京から移住し、現在集落の古民家を改造し、集落の集会所兼宿泊施設を目指しています。

嬉しい事に色々な団体やグループ活動の拠点施設として当園を利用して頂いた結果、観光客や交流人口までもが増加し、集落消滅の危機からも脱する事が出来ました。

将来的には原風景に溶け込んだ「花とみどり」を活かし、この集落一帯に花桃などの花木を植栽し、桃源郷のごとく癒しと安らぎを与えられる地域を目指し頑張りたいと思っています。

水田氏活動紹介
YouTube動画



花のまちづくり優秀賞 <企業部門>

芦屋市 セブンイレブン潮芦屋店 様



2016年より、店舗のオーナーの要望により植栽をはじめました。

当初は地域開発による建築が盛んで、店舗の客層は工事現場の方が主で、お子様連れのお母さんや若い女性は少なく、周りも建設途中の風景で殺伐としていました。

店舗前の緑地を花壇にし花を育てることで、子どもから高齢者まで安心して来店していただき、店舗外のオープンスペースで花を見ながらくつろいでいただける雰囲気を作るように努めました。

具体的活動としては、店舗の北側の花壇を春（12月～5月末）、夏（6月～11月末）の2期展示をしました。

花壇は歩道に沿ってあるので、お客様だけでなく地域の方々のお散歩やサイクリングなどの日常の通行時でも四季折々の花を見て『ホッ』としていただけるよう取り組みました。

また、店舗の活動だけでなく、隣接する県営住宅花壇を世話するグループにも種まきの指導・花苗供給や連携作業を行いました。

また、コンビニエンスストアという性質上、景観をよくすることで、分別すべきごみの投棄軽減

による美観維持を促すことにつながりました。

取り組んだことで、店舗外にあるカフェスペースでは、安心して休憩していただける環境が提供でき、地域のコミュニケーションの拠点となって続いてほしいです。

花のまちづくり
コンクール
ホームページ QR コード



ワークショップ報告 <但馬地域>

朝来市 中田路公民館 講師 ひょうごガーデンマイスター 稲澤 範治氏

令和4年度の6月16日 朝来市の中田路地域でワークショップによる植栽を行いました。

午前中は地域の公民館にて、土壌改良についての重要性と植栽する植物の特徴などを講義しました。

午後には、公民館近くの地域の方々が管理している川治い道路の植栽帯に新たな植物を植栽しました。

地域の方々の花壇活動とともに、さらなる輪の広がるきっかけになりました。



稲澤講師



植栽後の花壇

2022ひょうごまちなみガーデンショーin明石 開催報告

通算30回目を迎えた今年の「ひょうごまちなみガーデンショー」は、メイン会場（明石公園と明石駅周辺）およびサテライト会場（明石市立花と緑の学習園）にて、9月18日（日）から25日（日）まで、途中台風の接近による19日（月・祝）の中止をはさみ7日間開催しました。



30回記念のくす玉開披



明石公園入口付近でガーデンに目をとめる方々

明石公園の入口近くには、造園のプロ等が作庭した模範となるガーデンと、県内の農業系高等学校11校によるアグリハイスクールガーデンが並びました。

明石公園の西芝生広場では、中央にガーデンコンペ作品を展示。外側にぐるりと配置されたテントでは、各種ワークショップや体験できるイベントの開催、園芸用品や花苗の販売も行われました。

台風で一部プログラムがキャンセルになりましたが、多肉植物の寄せ植え、苔テラリウム作りなどは大人気でした。

9月25日（日）午後から、明石商工会議所7階ホールで「花と緑のまちづくりセミナー＆ガーデンコンペ・ひょうご表彰式」を行いました。まずはフルートの演奏でスタート。講師に全日本蘭協会・ラン栽培家の清水 柊 孝 さんをお迎えし、ランを身近に楽しむ工夫を伝えていただきました。続いての表彰式では、園芸のベテラン方に交じり高校生の皆さんも壇上で表彰を受けました。これからの一層の活躍が楽しみです。



アグリハイスクールガーデン
(県立篠山東雲高等学校の作品)



清水さんの講演



表彰式的一幕

今回のテーマ「花と緑に出逢えるまちづくり」のもと、若い方々の参画と多くの体験の場を通じて笑顔あふれる「出逢い」が、来場された約10万人の皆さまそれぞれにあったことでしょう。

2022 ガーデンコンペ・ひょうご 兵庫県知事賞

「2022ひょうごまちなみガーデンショー in 明石」にて開催された「ガーデンコンペ・ひょうご」の出展作品のうち、各部門の最優秀作品をご紹介します。(敬称略)

写真部門

応募総数60 明石公園サービスセンター内 パークギャラリーに展示しました。



【コミュニティ・職場】
花と緑のまちづくり市民サポーター
(伊丹市)



【家庭】
石山 則子
(神戸市)



【学園】
明石市立二見中学校PTA
(明石市)

ガーデン部門

出展総数246 明石公園入口付近および西芝生広場に展示しました。



【スモールガーデン】
園芸大学11期生
(明石市)



【寄せ植え】
籠池 安美
(洲本市)



【ミニ寄せ植え】
藤岡 京子
(神戸市)



【ハンギングバスケット】
安部 輝美
(養父市)

単鉢部門

出展総数97 明石公園 西芝生広場に展示しました。

花と緑のまちづくりセンター長賞



原 清美 (豊岡市)



相談所長の独り言 (ガーデンショー単鉢部門の苗配布から)

緑の相談所長 松永 龍児

苗配布の際に、他人からの情報をうのみにされている方が多いように感じたのでちょっと独り言。

1. 植物名について (ゼラニウム レッドエクスプロージョン)

今回配布した人の中ではゼラニウムという名前は日本でしか理解されないと知っている人は、皆無だったことにまず驚きました。

ペラルゴニウム
Pelargonium 'Red Explosion' が通称です。ゼラニウムは、Geranium (フウロソウ科) の日本訛りで、その後、ペラルゴニウム属に変わったので日本では上記名前になりました。

現在、多くの園芸種は業者がつけた名前前で販売されており、何が正しいか不明なものもあり、当センターのラベルにも怪しいものが少なからずあります。個人的には、原種以外は学名で書かれているわけではないので属名が間違っていなければ、気にしなくても良いではと思っています。

2. 鉢、培養土、水やり、肥料、置き場等

コンテストのために配布する苗は1か月近く温室内で、温度、土壌PH、水質(水道水はX)をきちんと管理して丁寧に育てられたものを配布しています。

園芸植物は、草原や森林に生えたり木に着生したりしているもののうち観賞価値のあるものを選別して、個人等で育てるように販売されています。当然、もとの生態にあった状態で育てることが一番良いのです。植物の環境に合った場所で、きれいな土に入れ替えて、地植えしたり木に付けたりするのがいいのです。

鉢植えは、生態的に合わないため、植物にかなり無理をさせてしまうので大変難しいわけです。

鉢、土は何がいいですかとか質問を受けることがあります。水道水をそのまま与えているという意識では、答えるのに苦慮します。メダカの水槽に水道水をそのまま入れる人はいないと思います。

鉢、培養土、水やりの仕方、肥料のやり方、栽培場所は個人個人異なり、その家の状況や育て方に合わせてそれらを決めていく必要があります。自分で考えて、試行錯誤しながら自分の正解を見つけていただく必要があります。

3. 寄せ植え・ハンギングについて (2年間携わってみて)



寄せ植え部門 兵庫県知事賞受賞作品

植物の生態を考慮せず、切り花と同様に絵の具のようにコンテストの日に合わせて綺麗な様々な花やカラーリーフ等を思いっきり詰め込んでおられる方がまだ、多いように感じました。

日陰に強い植物と日向に強い植物、水の好きな植物と乾燥に強い植物は一緒に入れないほうが数か月育てる場合には長持ちするのでいいのですが・・・

今回上位入賞したものは、ギャザリングという手法で同じような植物を小分けして連続性を保ってしっかり植えこまれていたため、悪条件下の展示でも崩れずにきれいな形を保っていました。植物の生態を熟知して小分けにして束ねないとうちはいけません。

賞を取ることに重点を置かずに、自分のレベルで植物が元気であればいいと考えて育てようではありませんか。皆さんが可愛がり育てられたものは世界で一つだけのものなのでから。

バラの地植えと鉢植えの生育環境の違い

緑の相談員 花元 仁

バラを育てている皆様、約半年間、楽しませてくれたバラを再生させる季節が来ました。これからの冬作業が、来年のバラの生育を左右します。

地植えのツルバラ系は、12月初旬から剪定を始め、1月初旬～中旬までに剪定終了。ハイブリッド系、フロリバンダ系の剪定は、1月下旬～2月中旬までに遅咲き品種から早咲き種に剪定を進めていきます。

そして2月末までに施肥、石灰硫黄剤の散布(刷毛塗りが効果大)と続きます。

鉢バラの場合も剪定の時期は地植えと同じですが、二年周期で植え替えを行わないと生育が悪くなります。これは、鉢土の団粒構造の変化により保水性、排水性、保肥性、通気性が落ちる事と、根の成長が鉢の容積の限界に達するからです。

最初にバラを買って来て鉢に植えた時は、根はそんなに多くないですが、二年後鉢からバラを抜くと根がたくさん伸びていますが、不思議な事に根は成長しているのに鉢から鉢土がこぼれ落ちる事はありませんよね。これは、最初の用土の団粒構造のバランスが取れているからです。団粒構造のバランスの悪い用土にバラを植えても、育ちが悪いのはそのためです。

地植えの場合は、固くなった表土をほぐし、周囲にスコップを入れてやると、通気性が良くなり根の成長が促進されます。又、スコップを入れる時に土壌改良材を混ぜてあげると、より効果が高くなります。

日本の降雨は酸性であり、水道水は塩素が入ってます。化成肥料も塩分がありますので、地植えでは土壌改良材の苦土石灰(アルカリ性)が必要であり、鉢植え用土は、二年周期の鉢土の入れ替えが必要となります。鉢土の配分は、赤玉土3~4(小粒5、中粒5)、ピートモス2、パーライト1~1.5程度です。この配合についても経験が必要です。赤玉土も赤土ですから産地により偏り(水分保水量値)があり、パーライトは、黒曜石や真珠岩で粒の大きさや保水性、排水性が異なり、ピートモスは、カナダ産、北海道産では原産地の苔の性質により保水性、保肥性が変わります。

草花の鉢土の表土に苔が出ているのは、ピートモスが原因です。

この様に生育には、光・温度・水分・肥料だけではなく、土壌の影響も多いと考えています。



明石公園バラ園 (5月)

※ 園芸相談コーナー ※

10:00~12:00

13:00~16:00

火曜日を除く毎日

TEL 078 (918) 2405

FAX 078 (919) 5186

MAIL info_midori@hyogopark.com

写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。



年末12月29日より年始1月3日までお休みします

園芸教室

★★お申し込み・お問い合わせ★★
花と緑のまちづくりセンター TEL078-918-2405
受付時間 9時～17時迄 申込開始日より先着順 ※電話のみの受付

令和4年度
令和5年1月～3月

実施日	タイトル	講師名	定員 【名】	受講料 【円】	受付 開始日
1/15 日 13:30～	◆ プリザーブドフラワーアレンジ ③ ～バレンタイン～	CFDクリスタルフラワーデザイナーズ 公認講師 松井 敏美	20	2,600	12/15
1/27 金 13:30～	バラの手入れ ③ ～冬剪定と年間管理～	花と緑のまちづくりセンター 花と緑の相談員 花元 仁	20	100	1/15
2/12 日 13:30～	山野草の素晴らしさとやさしい栽培法	咲くやこの花館 名誉館長 久山 敦	20	100	2/1
2/19 日 13:30～	原木きのご栽培にチャレンジ ～しいたけ・なめこ～	仲きのご園 原木きのご生産者 仲 秀雄	20	1,000	2/1
3/ 5 日 10:00～	◆ 明石公園の自然観察 ⑦	明石公園の自然に親しむ会 代表 兼光 たか子	20	100	2/15
3/10 金 13:30～	果樹育成講座 ② ～増やし方・移植他～	園芸研究家 間島 朗	20	100	2/15
3/17 金 13:30～	花と緑で健康づくり ～園芸療法の理論と体験～	兵庫県立淡路景観園芸学校 園芸療法担当講師	20	600	3/1
3/26 日 13:30～	◆ 明石公園の野草を押し花で楽しむ<春>	日本自然保護協会自然観察指導員 高野 哲司	20	400	3/1

開催場所：明石公園内剛ノ池南 花と緑のまちづくりセンター 研修室

花緑博士へチャレンジ!!

◆印は小学生以上が対象です。対象の教室を5回以上参加した小中学生には、花緑博士の認定証を進呈します。



ボランティアさんの花手水作品などをInstagramからも配信しています。是非ご覧ください！



編集後記・・・

さて、今秋開催された「2022ひょうごまちなみガーデンショーin明石」での「花と緑のまちづくりセミナー」では、若きラン栽培家として注目を集めている清水 柊孝（しみず まさたか）さんをお迎えしました。9歳でランに魅せられて以来、ランの虜となっている清水さんのお話はとても新鮮で印象深いものでしたので、紹介します。

ランというと、高貴な美しさを持つ花に惹きつけられますが、育てるのが難しそうというイメージがあります。そんな先入観をバツサリ切ってしまうお話でした。

清水さんが勧めるランの楽しみ方は、花が咲いていない成長期に変化を観察すること。（花だけを観るのではないのです。）特に根が伸び始めた姿の、他の植物にはない美しさと躍動感、成長を感じるバルブが太りだす姿など、一日のうちたとえ5分でも10分でもランを観察する時間を設けてペットを愛でているような気持ちで変化を楽しんでほしい、咲かないことに不安を抱かず、「わりと咲く観葉植物」という感覚で楽しみ、もし枯らしてしまっても諦めず、SNSでの情報などを活用して知識や栽培技術を得たり、交流を深めたりして楽しんでほしいと清水さん。あふれるばかりのラン愛です。

現代の生活環境では「おうちラン栽培」が十分可能になり、身近に楽しめる植物として気軽に栽培できるようになったことが大きな追い風となり、ランをきっかけとして、若い世代に園芸の魅力が広がっていったらいいですね。



バンドのガーデンバスケット植え



原種コショウランの板付け栽培

花と緑のまちづくりセンターだより 63号

●令和4年12月20日(年4回発行)

●編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 福田 稔

〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター

TEL: 078(918)2405 FAX: 078(919)5186 Eメール: info_midori@hyogopark.com